

U7000取り扱い注意点

1. 電波環境の確認

無線機を本設置する前に以下の点を確認してください。

ノイズや干渉波を受けると正常な送受信が出来ずデータエラーの原因となります。

特に電源装置付近やインバーター内臓の電子機器付近では電磁ノイズを受けやすくなります。

また、無線LANの影響もございます。

緑ランプが点灯



Sメーターが表示される

確認① スイッチON状態で常時Sメーターが表示される。

表示する＝強いレベルのノイズか干渉波を受けています。

発信源を特定して対処するか、影響が無い場所に無線機を移動してください。

表示しない＝正常です。

確認② スイッチON状態で常時緑ランプ(受信ランプ)が点灯している。

点灯する＝弱いレベルのノイズか干渉波を受けています。

発信源を特定して対処するか、影響が無い場所に無線機を移動してください。

点灯しない＝正常です。

※間欠で①と②が発生している場合は他局使用の可能性がございます。

③その他確認事項

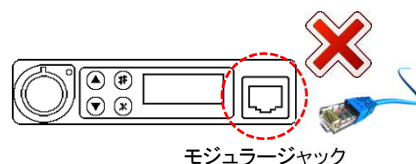
- ・アンテナを接続した状態と非接続状態とを確認してください。
接続状態＝アンテナ周辺(外側の環境)から影響を受けている可能性があります。
非接続状態＝無線機付近の環境から影響を受けています。
※アンテナ同軸ケーブルを他の電源ケーブルと一緒に束ねるとノイズが乗りやすいです。
- ・無線機のアースを取って確認してください。
- ・送電線下では電磁波の影響で通信が不安定になる場合がございます。

2. モジュージャックの注意点

本機とIF701インターフェースケーブルを接続するモジュージャックは、

LANケーブルのモジュージャックと同規格です。

ここに動作しているLANケーブルを接続しますとLANからの低圧大電流が原因で無線機が故障しますので注意してください。



3. アンテナコネクタについて

U7000側のアンテナコネクタは「N-J」タイプです。アンテナ側は「N-P」コネクタとなります。

接続の注意点として、特にノンラジアルタイプ(車載タイプ)のアンテナコネクタは「M-P」が

多くこのコネクタを直接U7000に接続してしまうとコネクタ部が破損してしまい全く飛ばなくなります。

必ず、「N-P」変換コネクタを使用してください。



右が正常
左がM-Pコネクタを差し込み
ジャックが広がっている状態

4. 使用温度

-20℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。故障の原因になります。

特にGPS補正データ基準局で収納ボックスに無線機を入れて運用する場合、ボックス自体を外気を取込んで冷却する換気式にしてください。

5. 「逆接」や「過電流」に注意してください。

U7000には、付属品の電源ケーブル(ヒューズ付き)が同梱されています。

必ず、本体と電源供給側の間には付属の電源ケーブルを接続して下さい。

特に重機などの設置で電源ケーブルを接続せずに過電圧が生じた場合、無線機が破損及び故障の原因となります。



電源ケーブル(付属品)

電源供給側